

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス フレッシュワンアップクラブ+ (プラス)		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 24日		令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 48
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達支援における専門的知識をもったスタッフが在籍していること 様々な職種のスタッフ(元教員・保育士・保育教諭・看護師・水中運動指導員等)が在籍していること	個別対応と集団への移行、そして集団適応と段階的に社会性を身につけるプログラム ゴールデンエイジ期に必要な神経系・運動系の発育に繋がるプログラム	より専門性を高めるため、作業療法士の採用獲得を目指している スタッフのスキルアップおよび研修実施の継続
2	発達に結びつく「脳・身体能力・身体バランス向上」を目的に粗大運動・微細運動また考えて身体を動かす、神経系発達を陸上運動および水中運動を通し育み、運動のあとの日課にて集中と手指機能・口育・視運動等の訓練と学習支援を提供していること	運動で交感神経を刺激し程よい興奮状態(気持ちの高ぶり)の中楽しく様々なトレーニングを展開する。そして水分補給とトイレ休憩をさみ興奮状態から沈静(気持ちを落ち着かせ)状態での集中時間を利用し課題に取り組ませることで能力向上に繋がる効果を取っている	今後 聴覚障害のお子様が入所される予定なので、サイン言語や手話の獲得をスタッフですすめていきたい より見える化・可視化を絵やカード、写真(実物)で提示し、わかりやすい、安心出来る環境整備
3	季節毎のイベント・遠足・宿泊体験 およびスクール生との交流(インクルージョン交流)・親子イベント・親子遠足での家族交流やきょうだい参加企画が充実していること 体験をする、公共施設、公共エリアの使用の学習 積み重ねることで社会適応と社会性を育む	日本特有の「四季」を感じる、文化・行事を体験する機会と成り立ち 概念形成や言葉、五感刺激を感じ取ることが出来るように取り組んでいる	行事前などに事前学習など子ども達が主体的、自主的に取り組める、効果が定着すること

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	若い人材、子育て世代の職員が不足 時間的余裕がない 支援の質のレベルがばらつきがある	人材育成・人材確保 利用者(お子様・保護者様)の最大の利益の確保 退勤時間ずれあり上手く打ち合わせが出来ないので、出来るシステムの構築 支援の質の向上	長く続けられる職場環境の整備・魅力ある職場 打ち合わせの方法(時間・やり方・ツール・システム)を出来るように構築する 支援に必要な学習を継続していく研修体制 子育て世代や介護世代の働き方考慮
2	ICT/IT SNSやネットなど活用が弱い	インスタグラムの活用 出来るスタッフが不在 活用した保護者への連絡および情報提供	システムがわかるスタッフの採用 在籍スタッフがわかるようになるための受講等 ホームページやSNS、インスタグラムなどの上手な活用
3	他事業所や民間の機関、地域の交流 横の繋がり、縦の繋がり	地域の研修や親の会などに参加しお互いの理解につとめた。今後も繋がりを広げていくため情報を広く収集していきたい	令和8年度から外への繋がりを積極的に取り組み、横・縦の繋がりを強化出来るよう取り組む